

続編 II (NO-3) 目次

	ページ
第一部 論考。	
第一章。 意識、認識、悟性。	2
1-001 ～ 1-018 論考	3～12
第二章。 時間、空間、世界、そして存在。	13
2-001 ～ 2-012 論考	14～22
第三章。 存在と実存。	23
3-001 ～ 3-030 論考	24～44
第四章。 随想。	
4-001 ～ 4-031	46～60
第五章。 科学と世界定位。	61
4-001 ～ 4-031	62～75
第二部 科学、実存、形而上学	76
6-001. ヤスパース と 暗号。	77
6-002. ヤスパース ”ニーチェ”。	91
6-003. ヤスパース ”包越者、存在、実存”。	93
6-004. ヤスパース ”実存開明”。	95
6-005. マハシギ・マヘツシュ・ヨーギ。	96
6-006. ニーチェ ”権力への意志”。	98
6-007. 科学の統一化。	101
6-008. 科学と世界解釈。	102
6-009. フッサール。	105
6-010. ハイデッガーとヤスパース。	107
6-011. エリッヒ・ヤンツ”自己組織化ダイナミクス”。	110
第三部 意識 と 認識	111
7-001 意識と意志。	112

7-002	意識の生理学的、構造的側面。	114
7-003	フッサールの意識と認識。	117
7-004	エリッヒ・ヤンツ。意識、脳。	118
7-005	ニーチェ。	120
第四部	現代物理学の現状	123
8-001	理論物理学における五大問題。	124
8-002	現代の量子重力理論。	126
8-003	最近の大統一理論、超弦理論の概要。	130
8-004	ホログラフィー。	133
8-005	意外な事実。	133
8-006	超対称性とDブレーン。	139
8-007	超対称性。	144
8-008	空間、時間、次元、・・・。	151
8-009	量子異常（アノマリー）に関して。	156
8-010	共形異常とWess-Zumino 作用。	160
8-011	メモ	163
第五部	位相的弦理論	165
9-001	概要。	166
9-002	トポロジカル弦理論の概要。	167
9-003	幾何学。	168
9-004	アノマリーに関すること。	169
9-005	トポロジカル弦理論、II B型行列模型の概略。	172
9-005-1	トポロジカル弦理論の追加－1。	174
9-005-2	トポロジカル弦理論の追加－2。	175
9-006	行列模型。	177
第六部	宇宙論	178
10-001	存在しているかどうか検証されていないもの。	179
10-002	物理定数は定数か。	181
10-003	アインシュタインの重力理論の修正への試み。	182
10-004	興味を惹く宇宙論。	183
10-004-1	モファットのMOG。	183
10-004-2	新しい4次元量子重力理論と宇宙論。	184
10-005	宇宙論に関する私論。	190
10-006	宇宙論と実存	193
10-007	メモ。関係事項	195
結 び		203